

令和5年度 草津栗東行政事務組合予算編成方針

1. 経済情勢等

わが国の景気の先行きについては、新型コロナウイルスの感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。

ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中で、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 構成市の財政事情

構成市では、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化していることを受け、税収等において、経済回復の遅れによる不確定要素があるなど、財源確保の先行きは極めて厳しい状況にあり、今後の財政運営に大きな支障が生じることが予測される。

3. 予算編成方針

令和5年度の当一部事務組合の予算編成方針は下記のとおりとする。

令和5年度は、「火葬場基本計画」を策定する年であり、策定にあたっては、市民ニーズに合った施設機能の導入について検討すると共に、構成市の財源の有効活用や質の高いサービスの提供を実現するため、民間の資金やノウハウなどを活用するPFI方式などの事業方式について、整備内容、社会情勢、財政状況などの各種要素を総合的に検討し、最適な事業手法を選定し、最小の経費で最大の効果を生み出せる計画の策定に尽力すること。

また、組合運営においては、構成市における厳しい財政状況を全職員が認識・共有し、可能な限りコストの抑制に努めた上で行うものとする。

さらに、構成市からの負担金の低減が図れるよう、国や県の政策や補助施策等の動向に注視しつつ、情報収集ならびに可能な限り特定財源の確保に努めることとする。

4. 令和5年度予算の重点施策

- ・火葬場整備に係る基本計画の策定ならびに環境影響調査の実施
- ・造成設計の実施